

令和5年度 教科年間計画

教科	国語	3年	使用	【教科書】新編現代文B 改訂版 (大修館書店)
科目	現代文B	4単位	教材	【副教材】高校漢字演習標準編

【この教科を学ぶ意味と身につく力】

学ぶ意味	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
身につく力	様々なジャンルの小説・評論・随想を読むことで自分の考えを深める力。 自分の考えを文章にまとめ、表現を工夫しながら相手に伝える力。

【この科目を学習するにあたっての留意点】

- ① 授業開始時に漢字の小テストを行う。(高校漢字演習標準編より出題)
- ② 意味調べ等のために国語辞典を用意する。
- ③ その都度出す質問は、最初から分からないと放棄せず、まずは考えてみようとする。
- ④ 自分の考えを伝えるための適切な表現を考え、根気よく推敲していくこと。

【予習・復習の仕方】

漢字小テストを上手に使い、書けなかった漢字を次には書けるようにチェックする。文章は何度も読み返し、意味が分からないところは質問すること。質問は答えを間違えても、どこをなぜ間違えたのか考えること。自分の書いた文章を読み直し、適切であるかを確認しながら書くこと。

【考査前の勉強の仕方・ポイント】

漢字は小テストで書けなかったものを普段からチェックしておき、書けないものがないようにする。文章は意味が分からないところがないか確かめながら、何度も繰り返し読む。ノートをよく見直し、ピックアップした文章が何を意味するのか、質問と照らし合わせながら理解する。

【評価の観点】

観 点	
①関心・意欲・態度	積極的な授業への参加と文章を読もうとする姿勢がある。
②話す・聞く能力	発問について考え、順を追って適切に自分の考えを説明することができる。
③書く能力	自分の考えを分かりやすく文章にすることができる。
④読む能力	様々な文章を表現に即して正確に読み取ることができる。
⑤知識・理解	漢字や文学史など、学習した内容が身についている。

【評価の方法】… 観点別で評価します。内訳は以下の通りです。

観 点	定期 考査	単元 テスト	小 テスト	発言 発表	プリント レポート	グループ ワーク	ノート 提出物
①関心・意欲・態度				○		○	○
②話す・聞く能力				○		○	
③書く能力					○		
④読む能力	○	○	○	○			
⑤知識・理解	○	○	○				○

授業計画

月	単元・学習領域	学習内容・評価の観点	提出物・テスト
4月	小説 「山月記」	①表に表れたものでは知りえない、人間存在の内奥について、考える。 ②作品の文体の特色を理解し、小説のおもしろさを読み味わう。	(毎回) 漢字小テスト
5月	評論 「きっと叶いますよ」	①黙々と働くH先生の様子と、それを筆者がどのように感じているかを読み取る。 ②読み取ったことをふまえて、自分が今まで出会った中で心に残った人物について文章を書く。	前期中間考査 ノート提出
6月	評論 「言葉は変わるもの、されど伝承すべきもの」 言語活動	①日本語の不易と流行に対する知識を深め、日本語を学ぶ楽しみを味わう。 ②自然に関する日本語について調べてみる。 ①ビブリオバトルに挑戦してみる。	(毎回) 漢字小テスト (夏休み課題) 読書感想文
7月 8月	小説 「ざしきわらし」	①登場人物の心情や人物像をとらえる。 ②「ざしきわらし」が象徴していることを読み取る。	前期期末考査 ノート提出
9月	評論 「殺し文句は永遠に」	①伊勢物語第六段の内容と、それを筆者がどのように感じているかを読み取る。	(毎回) 漢字小テスト
10月 11月	小説 「待合室」 言語活動	①江田先生や山崎さんなど、登場人物の人間像やそれぞれの心情を読み取る。 ②ストーリー展開の工夫を理解する。 ①テーマに沿った調べ学習を行い、プレゼンを行う。	後期中間考査 ノート提出
12月 1月	評論 「幸せの分量」 「迷う」力のすばらしさ	①現代社会における幸せとは何かについて、筆者の主張を読み取る。 ②読み取ったことをもとに、仕事と人生について考えを深め、文章をまとめる。 ①便利さを求める現代において、迷うことが人生のたのしみであり豊かさであるという筆者の考えを読み取る。 ②筆者の主張に対する自分の意見を書く。	(毎回) 漢字小テスト ノート提出

令和5年度 教科年間計画

教科	国語	3年	使用	【副教材】新成現代文・共通テスト対策 国語完答32
科目	実用国語	2単位	教材	

【この教科を学ぶ意味と身につく力】

学ぶ意味	① 現代文の問題演習に取り組むことで、読解力や、自分の考えを書き、発表するなどの表現力を養う。 ② 古文と漢文を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深める、古典に親しむ態度を養う。
身につく力	① 様々な分野の文章を読むことで、想像力、表現力を身に付ける。 ② 伝統的な文章を読むことで、日本の文化に関する知識や関心を高める。 ③ 論理的な小論文を書くことで、読解力、表現力を身に付ける。

【この科目を学習するにあたっての留意点】

- ① 授業開始時に、漢字や慣用表現などの語彙力を高める小テストを行うため、しっかりと予習をしてくる。
- ② 読解問題を多く取り扱うので、自分がその答えを導き出した理由を説明できるようにする。

【予習・復習の仕方】

- ① 語彙力、単語力、文法力が読解の礎となるので、その場限りの記憶ではなく、積み重ねて覚えていくこと。
- ② 習った文法は応用できるよう、自分なりにノートなどにまとめて見やすくしておくこと。

【審査前の勉強の仕方・ポイント】

- ① 小テストの漢字や語彙の問題を復習すること。
- ② 本文の要約をすることで本文を理解し、問題に取り組むこと。
- ③ 文学史を確認し、作品のジャンル、歴史的な位置づけ、特徴を確認する。

【評価の観点】

観 点	
①関心・意欲・態度	日本語や言語文化に対する関心を高めている。
②話す・聞く能力	発問について考え、順を追って適切に自分の考えを説明することができる。
③書く能力	自分の考えを分かりやすく文章にすることができる。
④読む能力	様々な文章を表現に即して正確に読み取ることができる。
⑤知識・理解	漢字や語彙、単語や文法、文学史を理解している。

【評価の方法】… 観点別で評価します。内訳は以下の通りです。

観 点	定期 考查	小 テスト	発言 発表	プリント レポート	グループ ワーク	作品	宿題
①関心・意欲・態度			○	○		○	○
②話す・聞く能力			○		○		
③書く能力				○		○	
④読む能力	○	○					
⑤知識・理解	○	○		○		○	

授業計画

月	単元・学習領域	学習内容・評価の観点	提出物・テスト
4月	●現代文 記述問題演習	①問題演習を通して、文章の構成の仕組み・要約の仕方を身につけ、問題を解く際の観点を身に付ける。	(毎回) 小テスト
5月	実用的な文章 ●小論文	②漢字力や語彙力を高め、読解・表現力を身に付ける。 ③設問文を掴み、必要な情報を取り出し、判断できる力を身に付ける。 ④テーマ型・課題型の400字程度の小論文を書く。	
	●古文 文法・和歌の手法 問題演習	①助動詞などの文法や平安時代の文化や背景などについて復習をする。 ②和歌の手法を復習する。 ③問題演習を通して、問題を解く際の観点を身に付ける。	
6月	●現代文	①漢字力や語彙力を高め、読解・表現力を身に付ける。	(毎回) 小テスト
7月	マーク式問題演習 実用的な文章 ●小論文	②設問文を掴み、必要な情報を取り出し、判断できる力を身に付ける。 ③データ型・課題型の800字程度の小論文を書く。	
8月	●漢文 句法・漢詩 問題演習	①頻出の句法の復習をする。 ②漢詩の問題演習を通し、形式や情景の読み取り方を学ぶ。 ③問題演習を通して、問題を解く際の観点を身に付ける。	前期期末試験
9月	●現代文 記述問題演習	①資料やグラフの見方や活用法を身につけ、問題を解く際の観点を身につける。	(毎回) 小テスト
10月	論理的な文章	②設問の条件を知り、読み取ったデータから解答を構成する力を身につける。	
11月	●古典 記述・マーク式 問題演習	①問題演習の中で、出題傾向を把握する。 ②重要語の知識や句形を捉え、文脈を正確に捉える力を身に付ける。	
12月	●現代文 マーク式問題演習	①資料やグラフの見方や活用法を身につけ、問題を解く際の観点を身につける。	(毎回) 小テスト
1月	論理的な文章 実用的な文章	②与えられた情報から推論する力を身につける。	

令和5年度 教科年間計画

教科	地理歴史	3年	使用 教材	【教科書】明解 世界史A (帝国書院)
科目	世界史A	2単位		【副教材】明解世界史図説エスカリエ (帝国書院) 明解世界史Aノート (帝国書院)

【この教科を学ぶ意味と身につく力】

学ぶ意味	<ul style="list-style-type: none"> 世界の歴史を学ぶことによって、国際社会を生きる現代人としての資質を養うため 世界の各国の歴史的背景を系統的に学び、国際理解を深めると共に国家の成り立ちについて考察するため
身につく力	<ul style="list-style-type: none"> 異(他)文化を理解受容する態度を持つことができる。 過去と現在、世界諸地域の問題と世界全体の問題は、因果関係と相関関係にあることが理解でき、資料や地図の活用から論理性を身につける。 世界の中の日本、日本が世界に対して働きかけた事項を確認することで、現代の諸問題に関心を持ち、現代人として生きる資質を養うことができる。

【この科目を学習するにあたっての留意点】

<ul style="list-style-type: none"> 授業の板書を書くためのノートが必要です。また板書事項だけではなく、聞き取ってメモをするなど自分なりのノート作りが望まれます。 課題やワーク提出は期限を守りましょう。

【予習・復習の仕方】

<p>予習…教科書の内容を読み、確認しましょう。また、授業内容は教科書の配列とは異なる場合もあるので、教科書単元の流れを大局的に掴むことが求められます。</p> <p>復習…授業内で取り上げた重要語句を中心に反復的に学習しましょう。ワークなども効果的に活用しましょう。</p>
--

【考査前の勉強の仕方・ポイント】

<p>ノートを確認し、ワークを反復して学習することを奨めます。重要語句にアンダーラインを引いて覚えることはもちろん、別なノートにまとめ直す、語句説明の欄を作る、一問一答方式を作り出すなど、自分にあった学習方法を確立しましょう。</p>

【評価の観点】

観 点	
① 関心・意欲・態度	授業態度、内容に関する発言、課題・ワーク提出、家庭学習を確認できる。提出物等
② 思考・判断・表現	相関関係や因果関係を整理し、それを表現できる。
③ 技能	資料(史料)や統計、地図等から情報を収集、整理、判断できる。
④ 知識・理解	歴史的事項や語句を理解・把握できる。

【評価の方法】… 観点別で評価します。内訳は以下の通りです。

観 点	定期 考査	単元 テスト	小 テスト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノート	ワーク シート	討議	宿題
①関心・意欲・態度					○		○	○	○		○
②思考・判断・表現	○	○			○		○		○		○
③技能	○	○							○		○
④知識・理解	○	○							○		○

授業計画

月	単元・学習領域	学習内容・評価の観点	提出物・テスト
4 5 6	第1部 世界の一体化と日本 第1章 前近代の諸文明 ・東アジア ・南アジア ・東南アジア ・西アジア・北アフリカ ・ヨーロッパ ・ユーラシアの交流圏 第2章 一体化に向かう世界 16世紀の世界と一体化 中国王朝（明・清） サファヴィー朝・ムガル朝 オスマン帝国 アメリカ ヨーロッパ	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の歴史上の特色について理解ができるか。 ・地球的視野（グローバルな視点）に立って、一体化していく世界を構造的に捉えて理解ができるか。 ・周の封建制、秦や漢の中央集権制という統治システムの相違に気づき、後者が中国の文化や社会の統一に果たした役割を理解することができるか。 ・南アジアの風土や宗教の成り立ちなどについて理解ができるか。 ・様々な文化の影響を受けた東南アジアの世界が果たしていた役割について理解ができるか。 ・文字や宗教の創始に見られる西アジアの世界について、イスラームの歴史的な由来の学習を中心とした理解ができるか。 ・封建的主従関係と領主制の二層構造として、立体的に西欧中世社会を考察し、キリスト教と国家との関係の違いを理解できるか。 ・図版等を用いて、16世紀の各地域の特色や一体化の流れについて理解し、その理解したことをもとに考察できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート、ワーク ・家庭学習提出 ・単元テスト ・前期中間考査
7 8 9	第3章 第3章 欧米の工業化 とアジア諸国の動揺 啓蒙とアメリカ独立 フランス革命 ナポレオンとその帝国 イギリス産業革命 ウィーン体制 戦争・革命とヨーロッパ各国 ラテンアメリカ 西アジア 南アジア 東南アジア 東アジア	<ul style="list-style-type: none"> ・啓蒙思想誕生に至る背景やそれぞれの違いについて対比して理解をし、同時にそれらが革命に結びついたことに注目ができるか。 ・干渉戦争という外圧の中で急進化する革命が独裁から恐怖政治に行き着くメカニズムを理解し、簡単にまとめることができるか。 ・ナポレオン登場の背景や制定した民法典の意義を理解し、革命独裁崩壊後の状況に関連付けて考察ができるか。 ・産業革命がイギリスから始まった理由や技術革新について理解できるか。 ・ウィーン体制に対する自由主義やナショナリズムなどの動きについて理解・考察ができるか。 ・世界資本主義のシステムの状況について理解ができるか。 ・19世紀各地域の特徴について、他地域との関わりとの中で理解ができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート、ワーク ・家庭学習提出 ・単元テスト ・夏期休業中の課題 ・前期末考査
10 11 12	第2部 地球社会と日本 第1章 現代社会の芽生えと世界大戦 資本主義社会の成熟 日露戦争と韓国併合 第一次世界大戦 世界恐慌 満州事変と日中戦争 第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・都市化が進展し、大衆社会が成立したことを理解ができるか。 ・ソ連における社会主義の輝かしい姿、暗い実体との落差の大きさに関心を持ち、先進資本主義国との違いについて理解ができるか。 ・当時の国際情勢について概観し、戦争が発生した背景について、考察や理解ができるか。 ・二つの戦争の原因や性格、平和の意義、国際政治の流れに対する関心を深め、理解しようとしているか。 ・図や資料、視聴覚教材から情報を読み取り、整理統合させながら、思考できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート、ワーク ・家庭学習提出 ・単元テスト ・後期中間考査
1	第2章 冷戦から地球社会へ 冷戦の開始 冷戦の激化と核戦争の危機 第三世界の出現 米・ソの動揺と多極化する世界 冷戦の終結 グローバル化とアメリカ EUの拡充とロシア、アフリカ 中東情勢とイスラム主義運動 アジアの経済発展 中国の台頭と多極化 地球社会の今後と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の対立軸を理解し、東西の関係、それにおびやかされる関係などに関心を深め理解しようとしているか。 ・冷戦の特徴、国連や国際政治の動きに関心を持ち理解しようとしているか。 ・現代の世界情勢と日本を関連づけて考えることができるか。 ・グローバル化の中に立つ欧米、中東、アジアの現状を理解した上で、それぞれの地域の課題や展望について考察ができるか。 ・図や資料から情報を読み取り、整理統合させながら、思考できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート、ワーク ・家庭学習提出 ・単元テスト ・冬期休業中の課題

令和5年度 教科年間計画

教科	公民	3年	使用	【教科書】なし 現代社会の教科書を使用する場合があります
科目	時事問題研究	2単位	教材	【副教材】なし 現代社会の資料集を使用する場合があります

【この教科を学ぶ意味と身につく力】

学ぶ意味	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の諸問題に広く見識を持つことで、生きる力を養う。 現在の諸問題について関心を持ち、情報を収集し、整理統合しながら判断、自己の意見を確立し、自分の立場を現していくため。
身につく力	<ul style="list-style-type: none"> 現代の社会制度を理解し、今後の生活において活用できる能力。 様々な資料や統計から情報を読み取り、比較・推測・判断しながら今後の生活において活用できる能力。 時事問題について面接試験や作文試験のための力。

【この科目を学習するにあたっての留意点】

- ・教員作成プリント学習及び生徒が作成したレポート等を活用します。バインダーが必要になりますので、各自で用意してください。
- ・課題提出は、期限を守りましょう。

【予習・復習の仕方】

予習…教科書はありません。したがって新聞やテレビニュース、インターネット配信などマスメディアを活用し、日常から見聞を広げておくことが望まれます。さらに、聞く、書く、話す、読むなど言語活動を意識しながら、自分の意見を持つことを目指しましょう。

復習…反復することで学習が確かなものになります。プリントを再確認しましょう。

【考査前の勉強の仕方・ポイント】

考査は行いませんので、日々の授業に積極的に取り組みましょう。

【評価の観点】

観 点	
①関心・意欲・態度	授業態度、挙手、質問、課題・レポート提出、家庭学習等確認できる提出物。
②思考・判断・表現	相関関係や因果関係が理解できたり、図や写真、文章によってプレゼン表現ができる。
③技能	資料やインターネット情報等から情報を収集、整理、判断できる。
④知識・理解	時事問題についての語句や流れを理解・把握できる。

【評価の方法】… 観点別で評価します。内訳は以下の通りです。

観 点	定期 考査	単元 テスト	小 テスト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノート	ワーク シート	討議	宿題
①関心・意欲・態度		○			○	○	○		○		
②思考・判断・表現		○			○	○	○		○		
③技能		○			○	○	○		○		
④知識・理解		○			○	○	○		○		

授業計画

月	単元・学習領域	学習内容・評価の観点	提出物・テスト
4	1. 現代社会の課題点とマスメディア（新聞・TV・インターネット）は現代社会をどのように伝えているか <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に関すること ・環境、資源、エネルギーに関すること ・生命倫理に関すること ・日本の政治経済分野に関すること ・課題研究の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記において、教員が提起する、または生徒が提起する。時事問題は、そのときの時事による。（以下同じ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回のプリント点検 ・単元テスト ・課題研究レポート
5		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なPCの使い方。 	
6		<ul style="list-style-type: none"> ・マスメディアの発展とその意義、問題点について各メディアの特性を理解しながらどのように活用していくべきか。 ・社会問題に対し興味・関心を持っているか。 ・社会問題に関するメディアを有効に使い、考えを深め、それを活用して言語活動に生かせるか。 ・現代社会の基本的な知識を身につけているか。 ・課題を設定し、授業内発表及び学校祭展示等に提出。 	
7	2. 世界情勢とその動向 <ul style="list-style-type: none"> ・課題研究の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の国際関係に対し興味・関心を持っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回のプリント点検 ・単元テスト ・課題研究レポート
8		<ul style="list-style-type: none"> ・現代経済・世界経済に対し興味・関心を持っているか。 	
9		<ul style="list-style-type: none"> ・経済活動の在り方や福祉の向上との関連について、また世界経済の中で日本が果たす役割について社会の変化や様々な意見をもとにして考えているか。 	
10		<ul style="list-style-type: none"> ・国際関係における日本の役割や世界の中での日本について社会の変化や様々な意見をもとにしながら関連づけて考えを深めているか。 ・現代の国際関係に関する資料を収集し活用しているか。 ・現代経済や世界経済に関する資料を収集し活用しているか。 ・国際関係の特色や国際紛争の原因を考えるための基本的な知識を身につけているか。 ・現代経済・世界経済の特色を考えるための基本的な知識を身に付けているか。 	
11	3. 身近な問題 課題研究の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な問題について基本的な知識を得ると共にそれに基づいて資料や統計を活用することができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回のプリント点検 ・単元テスト ・課題研究レポート
12		<ul style="list-style-type: none"> ・収集した資料統計を元に、それらを根拠としながら自分なりの意見をまとめることができるか。 ・年間を通じて培った学習成果としてよりよいものへと深化発展させることができたか。 	
1			

令和5年度 シラバス (3年)

教科 科目 単位数	数学 数学 B 3	受信校	北海道雄武高等学校	学科 学年(年次) 履修・実施	普通科 第三学年 選択・一斉
教科書 副教材	「改訂版 新編 数学 B」(数研出版) 「改訂版 教科書傍用 3TRIAL 数学 B」(数研出版)				

1 目標

数列とベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

(高等学校学習指導要領 (平成 21 年 11 月告示) より)

2 学習のポイント

- ・なぜ?を大切にすること。
- ・図やグラフなど大きく描く。
- ・別解を大切にすること。
- ・ゴールから逆算して考える。
- ・学習の理解度を上げるために、最低限の予習として「教科書をじっくり読む」ことを推奨する。
- ・発展的な内容を取り上げ、思考力・判断力・表現力を磨くことを目指す。

3 学習の評価

(1) 評価の観点と規準

次の4つの観点に基づき内容のまとめりごとに評価を行い、総括して学年末に5段階評価をします

① 関心・意欲・態度	② 数学的な見方や考え方	③ 数学的な技能	④ 知識・理解
・数列とベクトルに関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	・事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数列とベクトルにおける数学的な見方や考え方を身に付けている	・数列とベクトルにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	・数列とベクトルにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

(2) 評価方法と観点の関連

評価方法\観点	①	②	③	④	主な対象
ア 学習活動の観察	○	○			学習活動の取組
イ ワークシート	○	○			ワークシート(振り返りシート等)の記述
ウ 宿題・小テスト	○		○	○	宿題の取組、小テストの結果
エ 定期考査(単元テスト)		○	○	○	定期考査(単元テスト)の結果
割合(%)	25%	25%	25%	25%	

4 その他

<遠隔授業について>

(1) 授業者は対面授業時を除き、基本的に配信校から授業をします。授業中の質問や疑問等については随時対応しますが、申し出にくい場合などについては、教室にいる受信担当の先生に申し出ても構いません。

(2) 授業者が現地にいない分、皆さんの積極的な活動がより一層重要になります。メリハリをもって活動したり、わからないところを互いに教え合ったりすることは特に重要です。ぜひ、一緒に授業を「作っていく」つもりで参加してください。

(3) その他の遠隔授業の特性についてはオリエンテーション時に説明します。

<学習の支援について>

授業について、不安なことや気になること、配慮して欲しいことなどがあれば、可能な範囲で個別対応します。

5 年間授業計画 (計105時間)

月	単元	配当	主な学習内容	目標：ねらい	観点ごとの主な評価の対象 ①関心・意欲・態度 ②数学的な見方や考え方 ③数学的な技能 ④知識・理解
4	オリエンテーション	1	数学Bの学習について		
5	第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算	17	1 ベクトル 2 ベクトルの演算 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積 補充問題	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの向き、相等について理解している。 ベクトルの加法、減法、実数倍等の演算ができる。 成分表示されたベクトルの大きさ、和、差、実数倍の計算ができる。 ベクトルの内積のもつ図形的な意味を考えようとする。 ベクトルの大きさとなす角から内積を求めることができる。 内積を用いて、ベクトルの垂直について考察できる。 	①学習活動の観察 ②ワークシートへの記述 ③④小テスト
6	第2節 ベクトルと平面図形	16	5 位置ベクトル 6 ベクトルの図形への応用 7 図形のベクトルによる表示 補充問題 章末問題	<ul style="list-style-type: none"> 線分の内分点・外分点を位置ベクトルで表すことができる。 三角形の重心の位置ベクトルを表す公式を理解している。 線分上の点を $S:(1-S)$ に内分する点として処理できる。 位置ベクトルを利用して図形の性質を証明ができる。 垂直条件をベクトルの内積で表現して考察できる。 直線上の点を位置ベクトルで考察し、直線の方程式と関連付けることができる。 	①学習活動の観察 ②ワークシートへの記述 ③④小テスト
7	第2章 空間のベクトル	23	1 空間の点 2 空間のベクトル 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積 5 ベクトルの図形への応用 6 座標空間における空間 補充問題 章末問題	<ul style="list-style-type: none"> 座標空間において、点の座標や原点との距離を求めることができる。 空間のベクトルを平面上のベクトルの拡張として捉えることができる。 空間座標の点と空間のベクトルの成分の関係について理解している。 ベクトルの内積を、平面から空間へ拡張して考察できる。 3点が定める平面上に点Pがあることを、ベクトルで表現して利用できる。 位置ベクトルの一意性を理解し、図形の性質を証明できる。 空間ベクトルを利用して、線分の長さ、分点の座標などを求めることができる。 	①学習活動の観察 ②ワークシートへの記述 ③④小テスト
8					
9					

令和5年度 シラバス (3年)

10	第3章 数列 第1節 等差数列と等比数列	22	1 数列と一般項 2 等差数列 3 等差数列の和 4 等比数列 5 等比数列の和 補充問題	<ul style="list-style-type: none"> 数列の規則性を推定して、一般項を求めることができる。 初項と公差を文字で表して、条件から数列の一般項を決定できる。 等差数列の和の公式について、理解し、和を求めることができる。 初項と公比を文字で表して、条件から数列の一般項を決定できる。 等比数列の和の公式について、理解し、和を求めることができる。 	①学習活動の観察 ②ワークシートへの記述 ③④小テスト
11	第2節 いろいろな数列	14	6 和の記号 Σ 7 階差数列 8 いろいろな数列の和 補充問題	<ul style="list-style-type: none"> Σの意味と性質を理解し、数列の和を求めることができる。 階差数列を利用して、もとの数列の一般項を求めることができる。 和の求め方の工夫をして、数列の和を求めることができる。 	①学習活動の観察 ②ワークシートへの記述 ③④小テスト
12			9 漸化式 10 数学的帰納法 補充問題 章末問題	<ul style="list-style-type: none"> 漸化式から数列を定義できることを理解している。 置き換えなどを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。 自然数nに関する命題の証明には、数学的帰納法が有効なことを理解している。 	①学習活動の観察 ②ワークシートへの記述 ③④小テスト
1					

授業計画

月	単元・学習領域	学習内容・評価の観点	提出物・テスト	
4	1 多項式の乗法 2 因数分解	<ul style="list-style-type: none"> 予習・復習を行い、発表しようとする。(関心・意欲・態度) 簡単な計算問題に対して、学んできたことを、問題解決の手段として考えることができる。(数学的な見方や考え方) 	小テスト ノート 前期中間考査	
5	3 実数 4 1次不等式	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決に必要な計算技術を身につけている。(数学的な技能) 		
6	5 集合と命題 6 2次関数とグラフ	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学んできたことを、問題解決に必要な知識として身につけている。(知識・理解) 		
7	7 2次関数の値の変化	<ul style="list-style-type: none"> 予習・復習を行い、発表しようとする。(関心・意欲・態度) 		小テスト ノート 前期期末考査
8	8 2次方程式と2次不等式 9 三角比	<ul style="list-style-type: none"> 応用問題に対して、学んできたことを、問題解決の手段として考えることができる。(数学的な見方や考え方) 		
	10 正弦定理, 余弦定理	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決に必要なグラフを読み取る力を身につけている。(数学的な技能) 		
9	11 三角形への応用	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学んできたことを、問題解決に必要な知識として身につけている。(知識・理解) 		
10	12 データの分析 13 場合の数	<ul style="list-style-type: none"> 予習・復習を行い、発表しようとする。(関心・意欲・態度) 	小テスト ノート 後期中間考査	
11	14 確率① 15 確率②	<ul style="list-style-type: none"> 図形問題や、場合の数・確率の問題に対して、学んできたことを、問題解決の手段として考えることができる。(数学的な見方や考え方) 		
12	16 図形の性質①	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決に必要な個数を数え上げたり、確率を求める技術を身につけている。(数学的な技能) これまでに学んできたことを、問題解決に必要な知識として身につけている。(知識・理解) 		
1	17 図形の性質②	<ul style="list-style-type: none"> 予習・復習を行い、発表しようとする。(関心・意欲・態度) 総合的な問題に対して、問題解決の手段として考えることができる。(数学的な見方や考え方) 問題解決に必要な技術を身につけている。(数学的な技能) これまでに学んできたことを、問題解決に必要な知識として身につけている。(知識・理解) 		小テスト ノート

令和5年度 教科年間計画

教科	理科	3年	使用	【教科書】科学と人間生活（第一学習社）
科目	科学と人間生活	2単位	教材	【副教材】

【この教科を学ぶ意味と身につく力】

学ぶ意味	科学史を通して身近にある科学技術を知り、科学の一般常識を身につける。
身につく力	① 生物分野では、生物と光に関する基本的知識。 ② 化学分野では、材料とその利用に関する基本的知識。 ③ 物理分野では、光の性質とその利用に関する基本的知識。 ④ 地学分野では、天体（太陽系・銀河系）に関する基本的知識。

【この科目を学習するにあたっての留意点】

①常に各自が問題意識を持ち、思考を続けること。
②ノートはスライドや黒板に書かれたものを写すのではなく、口頭で説明を受けたこともメモする。
③分からない点は授業中に質問したり、休み時間に質問したりして必ず解決する。

【予習・復習の仕方】

① 予習は教科書を読み、疑問点を見つける。
② 復習は授業内容の確認と問題練習。

【考査前の勉強の仕方・ポイント】

教科書とプリントで学習内容を復習し、練習問題を解く。疑問点やわからない内容をなくす。
--

【評価の観点】

観 点	
①関心・意欲・態度	積極的態、準備、提出物、プリントの取り組みなど。
②思考・判断・表現	発問に対する答えが適切かどうか。
③知識・技能	基礎的基本的な知識（実験の手順を含む）が定着しているか。

【評価の方法】… 観点別で評価します。内訳は以下の通りです。

観 点	定期 考査	単元 テスト	小 テスト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノート	ワーク シート	討議	宿題
①関心・意欲・態度	◎		○	○	◎		◎		◎	○	◎
②思考・判断・表現	◎			○	◎		○		○	○	
③知識・技能	○			◎			○				

授業計画

月	単元・学習領域	学習内容・評価の観点	提出物・テスト
4 5 6	生物分野 第1節 材料とその利用①	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> プラスチックや金属に関する性質についてに理解する。 <input type="checkbox"/> 再利用の必要性や、最新のリサイクル技術についてに理解する。 <p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 授業プリントへの取り組みや発問に対する返答など。 <input type="checkbox"/> 小テストや考査への取り組み。 	<p>ファイル 復習プリント等 【前期中間考査】</p>
7 8	物理分野 第2節 光の性質とその利用	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 光に関する基本的用語や知識に理解する。 <input type="checkbox"/> 身近な技術と、光の性質との関係についてに理解する。 <p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 授業プリントへの取り組みや発問に対する返答など。 <input type="checkbox"/> 小テストや考査への取り組み。 	<p>ファイル 復習プリント等 【前期期末考査】</p>
9 10 11	生物分野 第1節 生物と光	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 生物を取り巻く環境要因や、光合成に関する基本的事項についてに理解する。 <input type="checkbox"/> 植物の発芽条件や花芽形成条件についてに理解する。 <input type="checkbox"/> ヒトの体内時計のしくみやその補正、概日リズムについて科学的に理解する。 <p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 授業プリントへの取り組みや発問に対する返答など。 <input type="checkbox"/> 小テストや考査への取り組み。 	<p>ファイル 復習プリント等 【後期中間考査】</p>
12 1 2	地学分野 第2節 身近な天体と太陽系における地球	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 太陽系に関する基本的知識と最新の知識に理解する。 <input type="checkbox"/> 地球から見た空の天体運動に関する基本的事項に理解する。 <p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 授業プリントへの取り組みや発問に対する返答など。 <input type="checkbox"/> 小テストや考査への取り組み。 	<p>ファイル 復習プリント等</p>

令和5年度 教科年間計画

教科	理科	3年	使用	【教科書】生物（啓林館）
科目	生物	2単位	教材	【副教材】サンダイヤル生物の基本マスター

【この教科を学ぶ意味と身につく力】

学ぶ意味	地球と地球に生きる生物を学ぶことで、環境の仕組み、生物としての人間を知る。
身につく力	① 細胞の構造と細胞小器官の働き（分子細胞学） ② 動植物の反応と行動（神経学、動物行動学） ③ 生態と生物群集の仕組み（生態学、森林生態学） ④ 生命誕生と地球史（進化論）

【この科目を学習するにあたっての留意点】

①常に各自が問題意識を持ち、思考を続けること。 ②ノートは黒板に書かれたものをただ写すのではなく、口頭で説明を受けたこともメモする。 ③分からない点は授業中に質問したり、休み時間に質問したりして必ず解決する。
--

【予習・復習の仕方】

① 予習は教科書を読み、疑問点を見つける。 ② 復習は授業内容の確認と問題練習。

【考査前の勉強の仕方・ポイント】

教科書とプリントで学習内容を復習し、練習問題を解く。疑問点やわからない内容をなくす。
--

【評価の観点】

観 点	
①関心・意欲・態度	積極的態度、準備、提出物、プリントの取り組みなど。
②思考・判断・表現	発問に対する答えが適切かどうか。
③知識・技能	基礎的基本的な知識（実験の手順を含む）が定着しているか。

【評価の方法】… 観点別で評価します。内訳は以下の通りです。

観 点	定期 考査	単元 テスト	小 テスト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノート	ワーク シート	討議	宿題
①関心・意欲・態度	◎	◎		○	◎		◎	◎	◎	○	◎
②思考・判断・表現	◎	◎		○	◎		○	○	○	○	
③知識・技能	○	○	○	◎			○				

授業計画

月	単元・学習領域	学習内容・評価の観点	提出物・テスト
4	第1部 生命現象と物質 1章 生体と物質	【学習内容】 □ 細胞小器官どうしのかかわりと生体膜のはたらきと構造。	ノート・プリント 実験 【前期中間考査】
5	1節 生体物質と細胞 2節 生命現象とカバク質 2章 代謝	□ タンパク質の構造と立体構造とはたらき。 □ 呼吸、光合成、化学合成の共通点と相違点。 【評価の観点】	
6	1節 呼吸 2節 炭酸同化 3節 窒素同化	□ 授業プリントへの取り組みや発問に対する返答など。 □ 小テストや考査への取り組み。	
7	3章 遺伝現象と物質 1節 遺伝情報とその発現	【学習内容】 □ 遺伝情報とDNAの複製。 □ 遺伝子情報の転写、翻訳。	
8		【評価の観点】 □ 授業プリントへの取り組みや発問に対する返答など。 □ 小テストや考査への取り組み。	
9	2節 遺伝子の発現調節 3節 バイオテクノロジー 大学入試問題研究	【学習内容】 □ 遺伝情報とDNAの複製。 □ 遺伝子情報の転写、翻訳。 □ 大学や看護学校の生物入試問題に取り組む。	
10		【評価の観点】 □ 授業プリントへの取り組みや発問に対する返答など。 □ 小テストや考査への取り組み。	ノート・プリント 実験 【後期中間考査】
11			
12	大学入試問題研究	【学習内容】 □ 大学や看護学校の生物入試問題に取り組む。 【評価の観点】 □ 授業プリントへの取り組みや発問に対する返答など。 □ 小テストや考査への取り組み。	
1			ノート・プリント 実験
2			

令和5年度 教科年間計画

教科	保健体育	3年	使用	【教科書】現代高等保健体育
科目	体育	2単位	教材	【副教材】ステップアップ高校スポーツ

【この教科を学ぶ意味と身につく力】

学ぶ意味	①運動を合理的、計画的に実践し知識や技能を高めるため ②自分の状況に応じた体力の向上を図るため ③公正、協力、責任、参画など集団への関与のあり方を学ぶため ④健康、安全を確保する方法を学ぶため
身につく力	○運動の楽しさや喜びを味わうことができる力 ○生涯にわたって豊かなスポーツライフを送ることができる力

【この科目を学習するにあたっての留意点】

①時間を守る。チャイムが鳴る前に心と体の準備をし、挨拶・体操は元気よく行うこと。 ②周囲の安全に配慮し、自分の行動の責任を理解して取り組むこと。 ③授業で決められているルールの意味を理解して遵守すること。 ④自己の健康管理に努め、異常がある場合には決して無理をしないこと。 ⑤自己の課題（テーマ）を持ち、課題解決のために最大限努力すること。 ⑥合理的な運動の実践に向けてのポイントを理解し、自らの（チームの）動きの改善を研究すること。 ⑦全員が今よりも「上手になる」ことで運動の楽しさが深まることを理解すること。 ⑧ワークシートへの記入を通じて自らの考えをわかりやすく伝える技術を身につけること。 ⑨ディスカッションに積極的に参加し、自らの考えを深めアイデアを出せるようにすること。 ⑩準備の習慣を身につけ、「気づき、考え、行動する」ことを念頭に置くこと。

【評価の観点】

観 点	
①関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、授業に対して自ら進んで計画的・積極的に参加しようとしているか。
②思考・判断・表現	自己の能力や体力に応じて課題を発見し、その解決に向け自ら考え、健康・安全に注意しながら工夫や改善をしようとしているか。
③技能	自己の能力と各運動の特性に合った技能を高め、運動の楽しさや喜び、体力向上のための身体の合理的な動かし方ができているか。
④知識・理解	運動の意義や必要性を理解するための知識を身につけ、自己の健康や安全および体力の向上に生かそうとしているか。

【評価の方法】…観点別で評価します。内訳は以下の通りです。

観 点	定期 考査	単元 テスト	小 テスト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノート	ワーク シート	討議	宿題
①関心・意欲・態度				○	○				○	○	
②思考・判断・表現					○				○	○	
③技能				○							
④知識・理解					○				○	○	

授業計画

月	単元・学習領域	学習内容・評価の観点	提出/テスト
4	体ほぐしの運動	【関心/意欲/態度】【知識/理解】 ・集団行動や準備運動（ランニング・体操・ストレッチング）の意義を理解し意欲的に取り組んでいるか。 【思考/判断】 ・姿勢や方向転換、ストレッチングの方法を身につけ、日常生活に活用できる能力を身につけているか。	
	体力を高める運動	【知識/理解】【思考/判断】 ・新体力テストを実施し、自分の体力的課題を認識し、解決に向けた具体的な方法を身につけられたか。	
	体育理論①②	★各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方 ・各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた楽しみ方があることを理解できたか。 ★ライフスタイルに応じたスポーツとのかかわり方 ・生活に合わせてスポーツを続けるために必要なことを理解することができたか。	
5	器械運動 (跳び箱運動)	【運動の技能】 ・技（開脚跳び、かかえ込み跳び、台上前陣など）をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。 【関心/意欲/態度】【知識/理解】 ・自分の動きを分析し、自身で課題解決に向けていく能力を高めることができたか。	
	陸上競技	【運動の技能】【知識/理解】 ・跳んだり走ったり効率よく体を動かすために必要な技能を身につけ、それらを高められたか。 ・投擲競技においてより高い技能を身につけると共に効率の良い運動の仕方について考える。 【関心/意欲/態度】【思考/判断】 ・自身の体力や技術的課題に応じた目標を設定し、実行・評価を繰り返す中で解決しようとする能力を高められたか。	
7	ダンス	【運動の技能】 ・表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で、対極の動きや空間の使い方で変化をつけて即興的に表現したり、イメージを協働した作品にまとめたりして踊ることができているか。 【知識/理解】【思考/判断】 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにすることができているか。	
	新体力テスト	【知識/理解】 ・体力テストの結果を基に課題を見つけ、体力の維持及び向上を目指す。	
	球技（ソフトボール）	【運動の技能】 ・個人技術（ピッチング、バッティング等）の能力をしっかりと身につけ、それらの技能をさらに高めることができたか。 【関心/意欲/態度】【思考/判断】 ・ルールを理解を深め、身につけた技能を活用し、状況に応じたバット操作や走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻守を展開することができたか。	
8	球技（バレーボール）	【運動の技能】 ・既習の個人技術や集団技術の能力をさらに高めることができたか。既習以外の集団技術（2段攻撃、時間差攻撃とその防衛など）を身につけそれらの技術を高めることができたか。 【関心/意欲/態度】【思考/判断】 ・身につけた技能を活用し、ネット型のゲームの特性を理解しつつ、ゲームができるよう工夫することができたか。	
9			体育理論③④
10	球技（バスケットボール）	【運動の技能】【知識/理解】 ・個人技術（パス、ドリブル、シュート、フェイント、リバウンド等）の能力をさらに高めることができたか。また集団技術（裏攻、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等）をしっかりと理解し、それらの技能を高めることができたか。 【関心/意欲/態度】【思考/判断】 ・身につけた技能を活用し、自己の課題の解決に向けて工夫したり、チーム内における自分の役割を果たせるように努めながらゲームに取り組む姿勢を持つことができたか。	
11			
12			
1	球技（バドミントン）	【運動の技能】 ・個人技術（サービス、ハイクリア、ドロップ、ヘアピン等）をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。 【関心/意欲/態度】【思考/判断】 ・身につけた技能を活用し、チーム内における自己の役割を果たせるよう努めながらゲームができるようになったか。	

令和5年度 教科年間計画

教科	保健体育	3年	使用	【教科書】なし
科目	生涯スポーツ	2単位	教材	【副教材】ステップアップ高校スポーツ

【この教科を学ぶ意味と身につく力】

学ぶ意味	<ul style="list-style-type: none"> ①運動を合理的、計画的に実践し知識や技能を高めるため ②自分の状況に応じた体力の向上を図るため ③公正、協力、責任、参画など集団への関与のあり方を学ぶため ④健康、安全を確保する方法を学ぶため
身につく力	<ul style="list-style-type: none"> ○運動の楽しさや喜びを味わうことができる力 ○生涯にわたって豊かなスポーツライフを送ることができる力

【この科目を学習するにあたっての留意点】

<ul style="list-style-type: none"> ①時間を守る。チャイムが鳴る前に心と体の準備をし、挨拶・体操は元気よく行うこと。 ②周囲の安全に配慮し、自分の行動の責任を理解して取り組むこと。 ③授業で決められているルールの意味を理解して遵守すること。 ④自己の健康管理に努め、異常がある場合には決して無理をしないこと。 ⑤自己の課題（テーマ）を持ち、課題解決のために最大限努力すること。 ⑥合理的な運動の実践に向けてのポイントを理解し、自らの（チームの）動きの改善を研究すること。 ⑦全員が今よりも「上手になる」ことで運動の楽しさが深まることを理解すること。 ⑧ワークシートへの記入を通じて自らの考えをわかりやすく伝える技術を身につけること。 ⑨ディスカッションに積極的に参加し、自らの考えを深めたり、アイデアを出せるようにすること。 ⑩準備の習慣を身につけ、「気づき、考え、行動する」ことを念頭に置くこと。
--

【評価の観点】

観 点	
①関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとしている。
②思考・判断・表現	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。
③技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身につけている。
④知識・理解	選択した運動の名称（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

【評価の方法】…技能 5 割、平常 5 割で評価します。内訳は以下の通りです。

観 点	定期 考查	単元 テスト	小 テスト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノート	ワーク シート	討議	宿題
①関心・意欲・態度				○	○				○	○	
②思考・判断・表現					○				○	○	
③技能				○	○						
④知識・理解					○				○	○	

授業計画

月	単元・学習領域	学習内容・評価の観点	提出/ テスト
4 5 6 7 8	オリエンテーション 筋力を高める運動 陸上競技	<p>【運動の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ランニング・体操・ストレッチング・ウエイトトレーニングの意義を理解し意欲的に取り組んでいる。 <p>【知識/理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体力の高め方、課題解決の方法、競技の仕方を理解している <p>【思考/判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、目標に応じた自己の課題を設定していること、仲間の課題や体調に応じて活動の仕方を選び自己に適した関わり方を見付けようと工夫している。 	
9 10	ニュースポーツ	<p>【関心/意欲/態度】 【知識/理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ニュースポーツの楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアなプレーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなど、健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとしている。 <p>【思考/判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた球技を継続するための取り組み方を工夫している。 <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ニュースポーツの特性や魅力に応じて、ゲームを展開するための作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めて、身に付けている。 <p>【知識/理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方を理解している。 	
11 12 1	バレーボール（球技）	<p>【運動の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習の個人技術や集団技術の能力をさらに高めることができたか。既習以外の集団技術（2段攻撃、時間差攻撃とその防御など）を身につけそれらの技術を高めることができたか。 <p>【関心/意欲/態度】 【思考/判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身につけた技能を活用し、ネット型のゲームの特性を理解しつつ、ゲームができるよう工夫することができたか。 	

授業計画

月	単元・学習領域	学習内容・評価の観点	提出物・テスト
4-5	楽典を学ぼう①	日本音名の表記方法 譜表、音符と休符、リズム、小節と拍子	小テスト
	アンサンブルの響き① ～箏～	2面の箏で二重奏を演奏する。 ◆さくらさくら ◆箏二重奏のための「日本のわらべうたつづり」 評：さまざまな奏法を習得できているか。相手の音をよく聴き、アンサンブルができているか。	グループ発表
	歌唱① ～二部合唱～	◆ふるさと 評：お互いのパートの声をよく聴き、言葉の発音をはっきりと心を込めて歌っているか。	実技テスト
6-7	歌唱② ～ドイツ語で歌おう～	シューベルトの歌曲を歌う。 ◆Die Forelle (ます) 評：ドイツ語の歌詞を正しく発音し、豊かな声量で歌えているか。	歌唱テスト
	歌唱③ ～合唱～	学校祭に向けての準備。 ◆学校祭のステージ発表企画の練習 評：合唱を通して、アンサンブルの楽しさを体感し、互いに協力し合って積極的に音楽を作り上げようとしているか。	学校祭での発表
7-8	アンサンブルの響き② ～リコーダー～	ソプラノ及びアルトリコーダーの練習。 ◆八長調・ヘ長調・変ロ長調・ト長調・二長調の音階 ◆合奏	実技テスト
	アンサンブルの響き③ ～トーンチャイム～	◆Beauty and the Beast 評：トーンチャイムの響きに関心を持ち、大勢で1つの音楽を作り上げることに積極的に取り組んでいるか。	
10-12	アンサンブルの響き④ ～卒業コンサート～	アンサンブル発表会に向けて、練習する。 ◆グループ分け・選曲・パート決めなど、各主体的に取り組む。 ◆毎時間ワークシートに「本時の目標」と「ふりかえり・できるようになったこと・反省点」を記入・提出する。 ◆互いに教え合い、完成度の高い演奏を目指す。 評：① 毎時間立てた目標を達成しているか。 ② ワークシートの記入・提出を怠っていないか。 ③ 本番に向けて練習に真剣に取り組んでいるか。	ワークシート
	鑑賞①	卒業コンサートをお互いに聴き合う。 評：グループ練習の成果を発揮できているか。 他グループの演奏の良さを感じることができているか。	実技テスト ワークシート
12-1	歌唱④ ～合唱～	卒業式の全校合唱を選曲し、練習する。仲間や後輩たちに感謝の気持ちを込めて歌う。	

令和5年度 教科年間計画

教科	外国語	3年	使用 教材	【教科書】 All Aboard! English CommunicationⅢ (東京書籍)
科目	コミュニケーション英語Ⅲ	4単位		【副教材】 ・ All Aboard! English CommunicationⅢ WORKBOOK (東京書籍) ・ 夢をかなえる英単語 新コメタン1 大学合格必須レベル (アルク)

科目の目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

(高等学校指導要領(平成21年12月)より)

この科目を学習するにあたっての留意点

学習の成果を測る手段として、また、目標として、「英検」を受験することが効果的です。本校は準会場校となっていますので在学中に3級⇒準2級⇒2級の合格を目指して頑張ってください。

「英検」や大学入試で確実に合格するには、単語や文法の地道な学習が不可欠です。副教材や参考書などを用いて頑張りましょう。

予習・復習の仕方

高校の授業を理解するには、辞書や参考書を利用して予習することが必要です。予習してよくわからなかった点を理解しようとして授業に臨む積極的な態度が必要です。授業でせっかく理解しても、忘れてしまえば無駄になりますから、習ったことをその日のうちに復習してください。忘れる前にきちんとノートにまとめると効果的です。

考査前の勉強の仕方・ポイント

教科書や配布プリント、ワークブック等を活用し、単語や文法、本文の内容などを復習してください。本文を音読することも効果的です。習った表現や文法を使って、自分自身に関することや身近な題材について表現することにも挑戦してみてください。

評価の観点

①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
②外国語表現の能力	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。
③外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
④言語や文化についての知識・理解	言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

評価の方法……観点別で評価します。内訳は以下の通りです。

評価方法\観点	①	②	③	④	対象
ア 学習活動の観察	○		○		言語活動への取り組み
イ ワークシート・小テスト		○	○	○	ワークシートへの取り組み状況、小テスト結果
ウ パフォーマンステスト	○	○		○	話すこと(やりとり、発表)
エ 定期テスト		○	○	○	読むこと(筆記)

年間授業計画 (計 140 時間)

月	◎題材 ●主な教材	配当	【学習領域】 主な学習内容 ◇テスト等	目標・ねらい	評価			
					①	②	③	④
4 / 5	○オリエンテーション	1	・コミュニケーション英語Ⅲの学習について	・アンケートへの回答を通し、これまでの英語の学習を振り返り、表現を中心としたコミュニケーション英語Ⅲの学習について見通しをもつ。	-	-	-	-
	○幸運を招く猫 ●Lesson1 Bring Me Good Luck!	14	【聞く・読む・話す・書く】 ・招き猫についての紹介を読み、その由来を理解する。 ・幸運のお守りについてスピーチをする。	・日本の伝統文化の1つである招き猫についての記述を正確に読み取ることができる。 ・自分の関心のある幸運のお守りについて、スピーチの形式で紹介することができる。	○	○	○	○
	●Getting the Necessary Information1	1	【読む】 ・場所の描写文を読み、事物の位置についての必要な情報をとらえる。	・事物の位置を正確に読み取ることができる。	○	○	○	○
	○野菜で笑顔に ●Lesson2 You Are What You Eat	14	【聞く・読む・話す・書く】 ・野菜スイーツパティシエの柿沢安耶さんについて読み、「食」について考える。 ・相手の食生活にコメントする。	・柿沢さんの食に対する考えや経験についての記述を正確に読み取ることができる。 ・自分の食生活について、相手に正確に伝えることができる。 ・相手の食生活について、聞いて理解することができる。	○	○	○	○
	●Communication	1	【聞く・話す】 ・職場での電話応対の場面において必要な基本的表現を使って対話する。	・電話での場面によく使われる表現や語彙を適切に選択し話すことができる。 ・伝言を正確にできる。	○	○	○	○
	○前期中間考査	1	◇考査	・学習内容の定着状況を確認する。	-	○	-	○
6 / 7 / 8	○戦火を越えた歌 ●Lesson3 The Power of Music	16	【聞く・読む・話す・書く】 ・『リリー・マルレーン』という歌を通し、戦場という極限状態において音楽の持った意味を考える。 ・好きな音楽について調べ、発表する。	・音楽の持つ力についての記述を正確に読み取ることができる。 ・自分の好きな音楽について、まとまりのある文章が書ける。 ・自分の好きな音楽について、口頭で相手に伝えることができる。 ・相手の好きな音楽について、聞いて理解することができる。	○	○	○	○
	●Word Box1 My daily Life	1	【聞く・話す】 ・自分自身に関することや身の回りの事物について、英語で紹介するという設定で発信活動を行う。	・自分自身のことや身の回りのことについて紹介するのに適切な語(句)や表現を選択することができる。	○	○	○	○
	○固有種の楽園 ●Lesson4 The Natural Treasures of Ogasawara	16	【聞く・読む・話す・書く】 ・世界自然遺産となった小笠原諸島について読み、その直面する問題について考える。 ・世界自然遺産を紹介する観光パンフレットを作成し、発表する。	・世界自然遺産となった小笠原諸島とその直面する問題についての記述を正確に読み取ることができる。 ・自分の関心のある世界自然遺産について、情報を調べ、発表の準備をすることができる。	○	○	○	○

月	○題材 ●主な教材	配当	【学習領域】 主な学習内容 ◇テスト等	目標・ねらい	評価			
					①	②	③	④
9	○前期期末考査	1	◇考査	・学習内容の定着状況を確認する。	-	○	-	○
	○よみがえる古代エジプト ●Lesson5 A Door to the Past	16	【聞く・読む・話す・書く】 ・古代史の解明に大きな役割を果たしたロゼッタ・ストーンの解読にいたる経緯や、ヒエログリフの特徴について理解する。 ・世界遺産について調べ、発表を行う。	・ロゼッタ・ストーンの発見と解読の経緯や、ヒエログリフの特徴についての記述を正確に読み取ることができる。 ・自分の関心のある世界遺産について、情報を調べ、発表の準備をすることができる。	○	○	○	○
	●Word Box2 Prefixes	1	【読む】 ・接頭辞の意味を学習し、未知語の意味を推測する。	・接頭辞の意味の知識を適切に使いながら未知語の意味を推測することができる。	○	○	○	○
10 11	○明日へのエネルギーを求めて ●Lesson6 A Vision for Green Energy	16	【聞く・読む・話す・書く】 ・日本とスウェーデンのエネルギー資源利用の比較についてのプレゼンテーションを読み、理想的なエネルギー資源の活用について考える。 ・グラフやチャート、写真や図などを使って、再生可能エネルギーについてプレゼンテーションを行う。	・日本とスウェーデンのエネルギー資源利用の比較についてのプレゼンテーションの記述を正確に読み取ることができる。 ・グラフやチャートに示されている内容について、正確に理解することができる。 ・自分の関心のある再生可能エネルギーについて、視覚資料や図表を適切に用いて考えを発表することができる。	○	○	○	○
	●Let's Listen1 公園か駐車場か	1	【聞く・話す】 ・ニュースを聞き、賛成・反対意見を聞き取る。 ・聞き取った内容について、自分の意見を相手に伝え、話し合う。	・意見を主張する際によく使われる基本的表現を正確に使うことができる。	○	○	○	○
	●プレゼンテーションにチャレンジ	6	【聞く・話す・書く】 ・地球温暖化による被害についてプレゼンテーションを行う。	・トピックの基本情報についてまとまりのある文章で伝えることができる。 ・具体例を使ってトピックを支えることができる。 ・事実に対する自分の意見を効果的に伝えることができる。	○	○	○	○
	●Getting the Necessary Information2	1	【読む】 ・オリンピックでの国別メダル獲得数に関して、図表を見たり会話を读んだりしながら、必要な情報をとらえる。	・比較表現（倍数表現）に注意しながら読み、必要な情報を的確にとらえることができる。	○	○	○	○
	○後期中間考査	1	◇考査	・学習内容の定着状況を確認する。	-	○	-	○

月	○題材 ●主な教材	配当	【学習領域】 主な学習内容 ◇テスト等	目標・ねらい	評価			
					①	②	③	④
12 / 1	○平等へのかけ橋 ●Lesson7 The Story of Ruby Bridges	16	【聞く・読む・話す・書く】 ・ルビー・ブリッジズさんの経験と彼女がアメリカの公民権運動に与えた影響について理解し考える。 ・自由と平等のために活動した人物について調べ、写真や図を使って発表する。	・アメリカの公民権運動に関する事実やルビー・ブリッジズさんの経験についての記述を正確に読み取ることができる。 ・自分の関心のある自由と平等のために活動した人物について、視覚資料や図表を適切に用いて考えを発表することができる。	○	○	○	○
	●Let's Listen2 背番号 42 の軌跡	1	【聞く】 ・ジャッキー・ロビンソンについて年号など特定の情報を聞き取る。	・自然な口調で話される英語を聞いて理解することができる。 ・必要な特定の情報を的確にとらえることができる。	○	○	○	○
	●Reading1 The Wizard of Oz	7	【読む】 ・物語を読み、登場人物の心情や場面の展開を理解する。	・理解できないことや未知語があっても、意味を推測したり背景知識を活用したりして積極的に読み進めようとする。	○	-	○	○
	●Reading2 Table for Two	7	【読む】 ・物語を読み、かけがえのない出会いについて考える。	・理解できないことや未知語があっても、意味を推測したり背景知識を活用したりして積極的に読み進めようとする。	○	-	○	○
	○学年末考査	1	◇考査	・学習内容の定着状況を確認する。	-	○	-	○

令和5年度 教科年間計画

教科	外国語	3年	使用 教材	【教科書】 AXEL アクセル 英語総合問題演習 course e [3rd edition]
科目	実用英語	3単位		【副教材】 TOUCH 10 共通テスト英語リスニング オリジナル問題集

【この教科を学ぶ意味と身につく力】

学ぶ意味	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。
身につく力	英語でのコミュニケーションが習熟の度合いに応じてできるようになります。社会的なテーマを扱うことができる英検2級程度の力が身につけることが目標です（2級を持っていない場合は、卒業までに必ず英検を受検するようにしてください）。

【この科目を学習するにあたっての留意点】

本科目は、大学等の入試および将来において求められる読解力と表現力を育成することを目的とし、様々なジャンル・テーマのテキストを理解し、内容に対して自らの意見をまとめたり伝えたりする能力を養うことを目標としています。
「英検」や大学入試で確実に合格するには、単語や文法の地道な学習が不可欠です。単語集や参考書などを用いて頑張りましょう。

【予習・復習の仕方】

復習について

綴り方やプリントの見直し、教科書本文の音読が効果的です。

予習について

1 教科書本文の音読 2 教科書本文の和訳

【考査前の勉強の仕方・ポイント】

考査前に詰め込むことにならないよう、日頃から取り組んでください。考査においても、覚えるだけでなく、内容や意見をまとめる能力が必要です。考査直前だけの学習での成果は限定的です。

【評価の観点】

観 点	
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
②外国語理解の能力	英語で書かれている学術的な文章を読んだり聞いたりして、情報や考えなどを的確に理解している。
③外国語表現の能力	英語で話したり書いたりして、学術的な話題において情報や考えなどを適切に伝えている。
④知識・理解	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

【評価の方法】… 観点別で評価します。内訳は以下の通りです。

観 点	定期考査	ライティング課題 プレゼン スピーチ パフォーマンステスト	小テスト	授業態度	ワークブック
①コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		○		○	
②外国語表現の能力	○	○	○		○
③外国語理解の能力	○	○	○		○
④言語や文化についての 知識・理解	○	○	○		○

授業計画

目標：読解したり聴解したりした内容に関して、自分の意見を論理的かつ正確に述べる
ことできる！

月	単元・学習領域	学習内容・評価の観点	提出物・テスト
4	LESSON1 子どもの失敗と親の向き合い方 (6)	(ア) 子どもの失敗に対する大人の向き合い方についての考えを理解させる。 (イ) 子どもに対する自分自身の関わり方について意見交換させる。	リスニング、語彙は適宜取り扱う
5	LESSON2 トランス脂肪酸にご用心! (6)	(ア) トランス脂肪酸についての説明を理解させる。 (イ) 自分がらだん注意を払っている食品等について発表させる。	
	LESSON3 テレビと幼児 (6)	(ア) テレビ視聴が幼児に与える影響等についての論説を理解させる。 (イ) 自分が親になった場合に自分の子どもにテレビをどのように視聴させるかについて意見交換させる。	前期中間考査
6	LESSON4 日本とアメリカの秋田犬 (6)	(ア) 秋田犬についての説明を理解させる。 (イ) 自分が好きなペットについて発表させる。	
7	LESSON5 カナダにおける公用語事情 (6)	(ア) カナダにおける公用語の現状についての説明を理解させる。 (イ) 将来の日本における公用語のあり方について意見交換させる。	前期期末考査
	LESSON6 現代社会のごみを調べる考古学 (6)	(ア) 考古学の視点から見たゴミ問題についての論説を理解させる。 (イ) 自分たちの町のゴミ問題について意見交換させる。	
8	LESSON7 キャシー・ベイジの人生 (6)	(ア) キャシー・ベイジについての説明を理解させる。 (イ) 真実と嘘を見分ける方法等について意見交換させる。	
9	LESSON8 パスタの歴史 (6)	(ア) パスタについての説明を理解させる。 (イ) 自分が好きな和食等の歴史について発表させる。	後期中間考査
	LESSON9 小国による環境保全の新アプローチ (6)	(ア) コスタリカの環境保全政策についての論説を理解させる。 (イ) 環境保全のために自分がしていること等について発表させる。	
10	LESSON10 インターネットと社会の変化 (6)	(ア) インターネットについての説明を理解させる。 (イ) ICT が今後の社会に与える影響について意見交換させる。	後期末考査
11	LESSON11 火と「裸のサル」 (6)	(ア) 火の利用が人類に与えた影響についての論説を理解させる。 (イ) 人類に大きな影響を与えた発見や発明について発表させる。	
12	LESSON12 ツバルの現在 (6)	(ア) ツバルの現状についての説明を理解させる。 (イ) 自分たちの地域が抱える問題について意見交換させる。	
1	LESSON13 相撲の伝統と現代 (6)	(ア) 相撲についての説明を理解させる。 (イ) 自分が好きなスポーツ等について発表させる。	学年末考査
	LESSON14 貧しい地域の人々を照らす LED (6)	(ア) LED についての説明を理解させる。 (イ) 自分にできるボランティア活動等について発表させる。	
	LESSON15 ニホンウナギの危機 (6)	(ア) ニホンウナギについての論説を理解させる。 (イ) 水産資源を保護する方法等について意見交換させる。	

令和5年度 教科年間計画

教科	商業	3年	使用	【教科書】原価計算 新訂版(実教出版)
科目	原価計算	3単位	教材	【副教材】zbⅡ工業bw(全経簿記2級工業簿記ワークブック) (英光社) 全経簿記能力検定試験公式テキスト&問題集2級工業簿記【第2版】(ネットスクール出版)

【この教科を学ぶ意味と身につく力】

学ぶ意味	原価計算とは、製造業における製品ができるまでの課程を簿記(工業簿記)にしたものを理解する。 原価計算を学習することで、企業経営における会計の資質と能力を身に付ける。
身につく力	適正な原価計算を行う能力と態度を育てる。

【この科目を学習するにあたっての留意点】

<ul style="list-style-type: none"> ・帳簿の計算をするので正確さが要求されます。 ・簿記特有の日本語や略語があるため慣れましょう。 ・目標(検定取得など)を持ち主体的・自発的に取り組み、最後まで遂行すること。 ・小テスト及びふりかえりを実施します。

【予習・復習の仕方】

<ul style="list-style-type: none"> ・予習:教科書や関連動画を視聴し、疑問点を見つけてメモをする。 ・復習:授業のふりかえりを行い、問題練習を行う。

【考査前の勉強の仕方・ポイント】

<ul style="list-style-type: none"> ・工業簿記に触れ、ふりかえりを行い、問題練習を行う。
--

【評価の観点】

観 点	
① 関心・意欲・態度	製造業における原価計算と工業簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、原価計算から得られる情報を活用する態度を身につけている。
② 思考・判断・表現	各種の原価計算の方法や記帳法、原価情報の活用などについて、なぜ、そのように行うのかなど自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけている。
③ 技能	製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、原価計算から得られる情報を的確に処理することができる。
④ 知識・理解	製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、原価計算の基本的な仕組み及び工業簿記の基本構造について理解している。

【評価の方法】… 観点別で評価します。内訳は以下の通りです。

観 点	定期 考査	単元 テスト	小 テスト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノート	ワーク シート	討議	宿題
①関心・意欲・態度			○	○	○				○		
②思考・判断・表現		○	○	○					○		
③技能		○	○	○					○		
④知識・理解		○	○	○					○		

授業計画

月	単元・学習領域	学習内容・評価の観点	提出物・テスト
4	第1編 原価計算の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・原価計算の意味と工業簿記の基礎について学習し、理解する。 	小テスト
5	第2編 原価の費目別計算	<ul style="list-style-type: none"> ・原価の3要素である材料費、労務費、経費についての記帳と手続きについて理解します。算の計算方法や記帳法について理解する。 	
7	第3編 原価の部門別計算と製品別計算	<ul style="list-style-type: none"> ・個別原価計算の基礎を学習し、部門別計算を行う場合との違いを理解する。 ・総合原価計算の基礎を学習し、工程別計算を行う場合との違いを理解する。 ・原価計算の違いは、個別受注生産と連続的大量生産との違いであることを理解する。 <p>物を作るために、どのくらいの費用がかかるか、その計算はどのように行うのかに関心を持ち、自分から進んでいろいろな物の原価を計算したり、問題演習に意欲的に取り組もうとする。</p> <p>原価の費目別計算・部門別計算・製品別計算について関心を持ち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。また、疑問点については粘り強く調べたり、積極的に質問したりする態度が見られる。</p>	単元テスト
8	第4編 製品の完成・販売と決算	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の完成、販売における記帳手続き、工場会計が本社会計から独立している場合の記帳法について理解する。 	小テスト
10	第5編 標準原価計算の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・原価管理に役立つ資料を提供する標準原価計算の意味と手続きについて理解する。 	単元テスト
11	第6編 直接原価計算の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・利益計画に役立つ資料を提供する直接原価計算について理解する。 <p>製品の完成時及び販売時の手続きや処理法、製造業の決算の特徴、さらに本社工場間の取引の記帳について関心を持ち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。</p> <p>直接原価計算を利用した原価情報の活用について関心を持ち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。</p>	

令和5年度 教科年間計画

教科	商業	3年	使用 教材	【教科書】最新情報処理 新訂版(実教出版)
科目	情報処理	3単位		【副教材】実技で学ぶ情報モラル(日本情報処理検定協会) 情報処理技能検定試験 表計算 模擬問題集 2・準2級編 (日本情報処理検定協会) パーフェクトガイド情報 Office2021 対応(実教出版)

【この教科を学ぶ意味と身につく力】

学ぶ意味	ビジネスの諸活動における情報の意義や役割を理解し、情報をビジネスに積極的に活用する態度を身につける。
身につく力	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基本的な仕組みやソフトウェアなどに関する基礎的な知識・技術を習得し、目的に応じた機器の利用ができる。 ・表計算ソフトウェアやワープロソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェア、情報通信ネットワークなどを活用したビジネス情報の処理ができる。 ・MetaMoji Classroom, Google Workspace for Education等とICT機器を活用ができる。

【この科目を学習するにあたっての留意点】

<ul style="list-style-type: none"> ①学習する目標(技術を身につける・検定取得)を持ち、向上心を持って毎時間取り組むこと。 ②授業や実習の提出物などで不正を行わないこと。 ③実習では、読解力・数学力(不等式・集合・データの分析)・英語力を身につけていることが前提であるため、各自復習すること。 ④学習内容が専門的かつ高度になるので、教科書を徹底的に利用することを心がけましょう。 ⑤ふりかえりを実施します。

【予習・復習の仕方】

<ul style="list-style-type: none"> ① 日常生活において、ICT機器を利用する際に、学習した内容を実際に利活用したり、家庭での会話のなかで、学習した用語などを使ってみたいりしましょう。 ② 情報セキュリティや情報リテラシーの関心を持ち、世の中で起こっている事柄について興味・関心をもち、最先端の情報をマスメディアから吸収することが大切です。

【考査前の勉強の仕方・ポイント】

考査前にはプリントを配布し、ポイントを伝えます。

【評価の観点】

観 点	
① 関心・意欲・態度	情報の収集・処理・分析・表現について関心を持ち、ビジネスの諸活動において情報を活用することを目指して主体的に取り組もうとするとともに、情報を活用する実践的な態度を身に付けている。
② 思考・判断・表現	ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用することを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
③ 技能	情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動における情報の活用を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
④ 知識・理解	情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、情報の意義や役割について理解している。

【評価の方法】… 観点別で評価します。内訳は以下の通りです。

観 点	定期 考査	単元 テスト	小 テスト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノート	ワーク シート	討議	宿題
①関心・意欲・態度				◎	○	○	○				
②思考・判断・表現		○		○	○	○	○				
③技能		○		○	○	○	○				
④知識・理解		○		○	○	○	○				

授業計画

月	単元・学習領域	学習内容・評価の観点		提出物・テスト
		座学	実習	
4~8	1章 情報の活用と情報モラル	<p>・ビジネスの諸活動における情報の意義や役割、コンピュータの基本的なしくみやソフトウェアなどの情報処理機器の活用に関する知識、著作権やプライバシー保護など、情報モラルの必要性や個人情報のセキュリティ管理の方法について学びます。</p>	<p>情報モラルタイピング (毎時) 表計算3級~2級</p>	ふりかえり (毎時)
	第3章 ビジネス情報の処理と分析	<p>・ビジネスの諸活動における情報を収集・処理するための知識や技術、経営活動などで発生する集計処理における表計算ソフトの効果的な利用、表計算ソフトの表計算機能・グラフ作成機能・データベース機能などについて学びます。</p>		単元テスト
9~1	5章 プレゼンテーション	<p>・プレゼンテーションの技法やビジネスの場でのプレゼンテーションの活用方法について学びます。</p>	<p>表計算2級~1段 プレゼンテーション2級</p>	単元テスト
	2章 情報通信ネットワークとセキュリティ管理	<p>・情報通信ネットワークの概要と、ビジネスにおけるインターネットの様々な利用方法やその効果について学びます。 ・情報化社会に参画するために個人が身につけるべきセキュリティ管理の方法について学びます。</p>		単元テスト

令和5年度 教科年間計画

教科	音楽	3年	使用	【教科書】特になし
科目	演奏研究	2単位	教材	【副教材】特になし

【この教科を学ぶ意味と身につく力】

学ぶ意味	様々な楽器や歌の演奏能力を伸ばす。
身につく力	① 楽器を演奏する ② 歌を歌う ③ 楽譜を読む ④ 鑑賞 以上①～④を様々な音楽活動を通して、身に付けます。

【この科目を学習するにあたっての留意点】

積極的に授業に参加しましょう。

忘れ物は大きく減点しますので、授業道具はきちんと準備をしましょう。

【予習・復習の仕方】

自分の身の回りに溢れている音楽に興味を持って、生活しましょう。

日々の授業に真剣に・積極的に参加しましょう。

【考査前の勉強の仕方・ポイント】

--

【評価の観点】

観 点	
①音楽への関心・意欲・態度	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習の目標・計画を立て、主体的に取り組もうとする。
②音楽表現の創意工夫	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、どのように演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。
③音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。
④鑑賞の能力	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。

【評価の方法】… 観点別で評価します。内訳は以下の通りです。

観 点	定期 考査	単元 テスト	小 テスト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノート	ワーク シート	討議	宿題
①音楽への関心・意欲・態度				○	○	○			○		
②音楽表現の創意工夫				○	○	○					
③音楽表現の技能				○	○	○			○		
④鑑賞の能力				○	○	○			○		

授業計画

月	単元・学習領域	学習内容・評価の観点	提出物・テスト
		<ul style="list-style-type: none"> ●演奏研究の選択者の顔ぶれ・卒業後の進路希望などを考慮して、授業内容を決定します。 ●進路希望が音楽大学進学・保育士志望などさまざまな場合は、個別対応の授業となります。 ●令和5年度は、次のような学習内容となる予定です。 	
4	楽器演奏①	◆8時間から12時間に1曲のペース（目安）で、	ワークシートは 毎時間記入・提出
5		選曲・パート練習・合奏の計画を立て、曲を仕上げる。	
6	楽器演奏②	◆選んだ曲の難易度に応じて、何時間計画で取り組むか、適正な予定を立てる。	
7		◆ワークシートを活用し、始めの5分で「本時の目標」、最後の5分で「ふりかえり・できるようになったこと・反省点」を必ず記入する。	
8	楽器演奏③	評：① 自ら立てた目標を達成するために、努力をしているか。	
9		② ワークシートの記入内容・提出状況。	
10	楽器演奏④		
11	ステージ発表	◆11月に練習の成果を発表する機会を設ける。（ステージ発表を兼ねた実技試験）	
12	楽器演奏⑤	◆12月・1月は新たなレパートリーの練習。	
1			

令和5年度 教科年間計画

教科	家庭	3年	使用	
科目	生活教養	3単位	教材	【副教材】楽しく学べるマナーの基本

【この教科を学ぶ意味と身につく力】

学ぶ意味	家庭生活や将来の仕事に必要なマナーを身につけるとともに、社会人に必要な教養と実践的な技術を身につける。
身につく力	社会人としてのマナー、自立するための教養と技術。

【この科目を学習するにあたっての留意点】

体験を通しての学習を重視するため、実習・演習が多くあります。必要な用具を忘れないこと、安全面や衛生面に十分注意すること、まとめの反省や感想をしっかりと記入して振り返りをする事、積極的に授業に参加することが大切です。

【予習・復習の仕方】

予習は指示があるとき以外は必要ありませんが、指示された道具を必ず持ってくるようにしてください。授業で学んだ知識や技術を家庭生活や進路の取り組みに役立てるように努力してください。

【考査前の勉強の仕方・ポイント】

「なぜこうするのか」「なぜこうなっているのか」を考えて学習してください。

【評価の観点】

観 点	
①関心・意欲・態度	生活の充実向上を目指し主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。
②思考・判断・表現	生活上の課題を見だし、それを解決する方法を具体的に表現できる。学んだことを現在及び将来の生活に結びつけて考えることができる。
③技能	生活を営むために必要な基礎的・基本的な技能を身につけている。
④知識・理解	生活の充実向上のため必要となる基礎的・基本的な知識を理解している。

【評価の方法】… 観点別で評価します。内訳は以下の通りです。

観 点	定期考査	小テスト	実技・実習	発言・発表	作品	レポート	ワークシート
①関心・意欲・態度			○	○	○		○
②思考・判断・表現	○	○	○	○	○	○	○
③技能	○		○		○		
④知識・理解	○	○	○		○		

授業計画

月	単元・学習領域	学習内容・評価の観点	提出物・テスト
4 5	1. 高校生としてのマナー (1) 身だしなみの基本 (2) 子どもや高齢者との接し方 (3) 敬語の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生として身につけておくべきマナーについて学習する。 ・幅広い年代の人々との関わり方について学び、良好な関係を築けるようにする。 ・それぞれの場にふさわしい言葉づかいを理解し実践できるようになる。 	小テスト
6 7	2. 社会人としてのマナー (1) 面接の受け方 (2) 電話のかけ方、取り次ぎ方 (3) ビジネスマナーの必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人になる上での基本を身につけ、実践できるようになる。 ・面接のマナーを学びスムーズな受け答えができるようになる。 	前期中間考査
8	3. 外出先でのマナー (1) 訪問とおもてなしのマナー (2) 洋室・和室でのマナー	<ul style="list-style-type: none"> ・外出する時のマナーについて学習する。 ・相手への気遣いとその場にふさわしい立ち居振る舞いについて実践を交えながら学習する。 	
9 10	4. 食事のマナー (1) 箸使いの基本 (2) 和食のマナー (3) 西洋料理のマナー (4) 中華料理のマナー	<ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーを身につけ、食事の場において正しい振る舞いができるようになる。 ・日本をはじめとする各国の食文化を学ぶ。 	前期期末考査
11	5. 手紙の書き方のマナー (1) 手紙の書き方 (2) お礼状の書き方	ビジネスや日常生活における正しい手紙の書き方や季節や行事等の用途に応じた手紙の書き方を学ぶ。	後期中間考査
12	6. 人生の節目のしきたり (1) 贈り物のマナー (2) 場に合った服装の整え方	<ul style="list-style-type: none"> ・慶事、弔辞等の伝統的なしきたりについて理解し、社会人としての振るまいができるか。 ・それぞれの場に相応しい装いについて基本的な考え方やマナーを理解する。 	
1	7. 国際人としてのマナー (1) 日本の伝統文化の紹介 (2) 知っておくと良い英語の表現	外国人と接する際のマナーを身につけ、実践できるようになる。	発表